

1. 評価結果概要表

平成 21年 1月 13日

【評価実施概要】

事業所番号	2070400342
法人名	社会福祉法人 平成会
事業所名	グループホームさわらび
所在地	長野県岡谷市西山1723-101 (電話) 0266-21-1113

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年1月13日	評価確定日	平成21年3月19日

【情報提供票より】( 20年 12月 10日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	8 人	常勤2人	非常勤6人 常勤換算0人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 100000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,170 円

(4) 利用者の概要 ( 12月 10日 現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86.2 歳	最低 80 歳	最高	91 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡谷塩嶺病院・桔梗ヶ原病院・太田歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

四季を通して空気が美味しい自然環境の中、介護老人福祉施設に併設してホームは設置されている。管理者は長年福祉現場に関わって来られ、サービスの質の確保・向上をめざし福祉の運営に当たられている。年間研修計画を立て全職員が自発的に研修に参加できるよう職員の人材育成に努められている。なお様々な分野の講師を招き講演会を開催し、地域の方々に呼びかけ地域に開かれた福祉施設の構築に取り組まれている。また協力医療機関の支援により365日24時間医療機関との連携体制が図られ、入居者・ご家族の安心と安全に繋がっている。県内に同一法人や関連法人によるグループホームを沢山設置し、相互交流や意見交換を図り、それぞれ特徴を持って地域密着型サービスの提供に当たられている。ホームの道標である食心を豊かにする食事の提供を大切にしており、半月盆には季節感あふれる色彩豊かな食事が提供され入居者は会話も弾み楽しく食されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題であった介護計画の遂行状況確認のため、入居者の状態変化や要望が変わらない場合にも毎月のカンファレンス時に見直しを行うよう改善が図られている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	職員全員が自己評価の意義を理解して全職員で評価に取り組み、評価より得られた課題等についてカンファレンス時に話し合い、サービスの質の向上に取り組まれている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議には、入居者やご家族代表、幅広い立場の方々への参加により、ホームの近況報告や課題解決に向けた議題(感染症についての取り組みや総合防災訓練について等)をもとに意見交換をし検討をされている。今後更に継続検討を重ねホームの安全と環境づくりの為に基盤づくりへの取り組みに期待します。なお外部評価を提示して評価で明らかになった課題について検討し、サービスの質の向上を図られることを望みます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	入居開始時に苦情相談機関の受入れ窓口の説明をすると共に、運営推進会議への出席時や年1回法人で行われるアンケートによる意向・満足度調査、ホーム玄関に意見箱を設置して入居者・ご家族が気軽に意見・要望を表出できる工夫がされている。なお派遣相談員を受け入れ意見・不満・苦情を伝える環境づくりもされている。出された意見・要望は全職員で話し合わせホームの運営に反映されている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	区費を納めると共に、地区活動にはできる範囲で参加されている。地域の方々との出会い時には気軽に挨拶を交わしあい、ホーム敷地内の庭への散策にお誘いをしたりと馴染みの関係づくりに努められている。なお併設施設の行事(合同コンサート等)参加や施設に訪問される園児や小中学生等、地域住民との交流を持たれている。派遣相談員やボランティアも定期的に訪問しており、ホーム入居者は大変楽しみにされている。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念「共に歩む」を基盤にしつつ、地域密着型サービスの意義を全職員で理解し、「利用者の生活暦を尊重し、地域の中でその人らしく暮らし続ける」をホーム独自の理念としてつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員採用時に理念を伝え、理解を得ると共に、毎月開催されるカンファレンスや日々のミーティング時に理念に触れ、職員全員で確認し合い、共有を図られている。職員よりケアサービスに活かされたホーム理念を伺った。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の活動にはできる範囲で参加されている。地域の方々との出会いの際には挨拶を交わしあい、ホームの庭へ散策にお誘いをしたりと馴染みの関係づくりに努められている。なお併設施設の行事(合同コンサート等)参加や施設を訪問される園児・小中学生等地域の住民との交流を持たれている。派遣相談員やボランティアも定期的に訪問し、入居者も楽しみにされている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員で行い、評価より得られた課題についてカンファレンス等で話し合い、サービスの質の向上に取り組まれている。		

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には入居者、ご家族、地域住民の代表者、行政職員等の参加のもと今年度は3回開催されている。施設の近況報告、感染症や総合防災訓練について、検討課題が話合われ、意見交換が行われている。</p>		<p>運営推進会議を通して、地域との意見交換の場となり、災害時や火災時の相互協力の話合いの場となると共に、グループホームの入居者に限らず、認知症の方の生活を地域で支えて行かれる体制作りに期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域密着型サービス創設に伴い、入居の際に市町村担当者と連携を図り情報提供をし、課題解決に向けた取り組みが行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回写真入りのホーム便りを発行し、入居者の暮らしぶりや身体状況を報告すると共に、面会時には個別の写真帳を閲覧することで、入居者の日頃の様子を伝える工夫もされている。なお必要時には電話にて連絡を取っている。金銭や確認が必要書類は毎月報告し、面会時に確認して頂いている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議への出席や、年1回法人で行われるアンケートによる意向・満足度調査、ホーム玄関に設置されている意見箱により、入居者・ご家族が気軽に意見・要望を表出できる工夫がされている。出された意見・要望は職員全員で話し合い、ホームの運営に反映されている。また派遣相談員の活用も可能である。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員交代による入居者のダメージを理解されており、職員の配置異動は極力行わない意向であることと、離職を防ぐと共に新入職員が入居者に馴染み、継続したケアが行うことができるよう努力していかれる旨を伺った。</p>		<p>最近契約職員の任期満了により、やむを得ず職員の交代があったことを伺った。入居者個々に対しての影響を十分検討し入居者、ご家族の信頼を築かれることを望みます。</p>

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の盛り沢山の年間研修計画が立てられ、職員は可能な限り積極的に参加されている。なお目標を持ってスキルアップに努められている。また研修参加後にはミーティング等で成果を報告し、話し合いの上、共有が図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>諏訪圏域のグループホーム連絡会や講習会に参加されている。法人内のグループホームとの意見交換会や相互交流を図り、サービスの質の向上に努められている。今後更に法人内外のグループホームとの意見交換や体験実習を通して質の向上を目指して行かれる旨を伺った。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>地域密着型サービスの特徴を活かし、職員が入居予定者の家に訪問して、相談や事前面接による馴染みの関係づくりやご家族からの情報収集に努められている。なおホームへの体験利用はないが、ご家族と共に見学に見え、職員や他の入居者との関わりの中、ホームの環境に馴染みながら入居されている。中には納得が得られないまま入居にいたる方もいるが、日頃の職員の寄り添いのケアにより穏やかに過されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者一人ひとりの生活暦や日頃の思いを理解しつつ、また認知症の有無にとらわれず共に過ごし、学び、支え合う関係づくりに配慮されている。調理方法、編み物等を教えられたり、共に考え合って過されている。</p>		

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃のケアの中より入居者一人ひとりの行動や表情、何気ないつぶやきを大切に受け止め、思いや希望、意向の把握に努められている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりの中より得られた情報(入居者・ご家族よりの意見や要望等)を基に、担当職員が中心になって職員全員で話し合わせ入居者本位の介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは3ヶ月に1回行われている。しかし入居者に状態に変化が見られた際には、入居者やご家族、主治医等と話し合い、要望を取り入れると共に必要に応じた見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者やご家族の要望に応じた支援がされている。(買い物や行事等の外出時、通院や受診の付き添い、入居者家族の宿泊等)</p>		

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前にかかりつけ医の変更について入居者、ご家族と十分話し合い同意を得ており、協力医療機関の医師が主治医となっている。24時間当直医師がおり夜間の緊急時にはオンコールでの対応が可能と伺った。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期に対する重度化指針を定め、入居者・ご家族・医師を交え話し合いを重ね、看取りの場の選択肢(ホーム又は同敷地内の併設施設等)が設けられ、入居者、ご家族の安心と安全が確保されている。可能な限り早期から方針を共有し、状態変化に合わせた繰り返しの話し合いを持ち、支援される意向を伺った。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>管理者は全職員にプライバシー保護に関する個人情報保護法について意識向上に努められており、日常生活の中で言葉がけ等プライバシーを損ねない対応への配慮が見られた。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームの基本的な流れはあるものの、入居者の気持ちや状態に合わせ、入居者主体のペースで過されるよう柔軟な対応に努められている。</p>		

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームでは季節感あふれる色彩豊かな食事提供による食の豊かさを大切にされており、お膳には色とりどりの小鉢が並べられ「食」へのこだわりが感じられる。入居者は楽しそうに盛り付けをしたり、食後の片付けをされている。職員と同じテーブルで食事を楽しみながら会話が弾んでいた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回午前・午後のいずれかの時間帯に入浴をされている。入浴時にはゆっくり、ゆったりとした入浴に心がけられている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や日常の関わりの中、一人ひとりの力量や楽しみ事を把握し、役割や気晴らしの支援に努められている。食事の準備、食後の片付け、掃除、花の水くれ等の役割や散歩、地域の行事参加、編み物、ぬり絵、計算ドリル等により気晴らしの支援に努められている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの庭には様々な木々が植えられており、庭の散策や、同一敷地内にある介護老人福祉施設のイベントに参加されている。時には外食や地域の行事等にも出かけられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵が掛けられている。職員の配置や建物の構造・周辺環境を考えた時に入居者の安全確保を優先し、ご家族に説明をして了解が得られている。入居者の安全確保に留意しつつ鍵をかけないケアに向けた取り組みについて職員間で継続検討が行われている。		鍵を掛けない自由な暮らしの大切さについて認識を深め、見守り方法や寄り添いのケア等により、日中鍵を掛けないで安全に過せる工夫を重ねることを望みます。

グループホームさわらび

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年9月1日に併設施設と合同で総合防災訓練を実施されている。なおホームでは入居者の参加のもと、2ヶ月に1回のミニ訓練を実施して、避難誘導を含め災害時対策に取組まれている。職員からも避難経路、避難場所について伺った。		ホームのみの訓練だけでなく地域住民の参加や協力を得ながら、ホーム入居者の安全な避難に向けた話し合いを持たれることに期待します。なお現状の中で夜勤に就かれる前に災害時に当たってのシュミレーションを積み重ねることを望みます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに考慮された食事の提供が行われ、食事や水分摂取量を毎日チェック表に記録をして必要量の確認が得られている。入居者の状態に合わせた食事形態の配慮もされている。なお併設施設の管理栄養士による専門的アドバイスを頂いている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間(玄関、居間、食堂等)には季節の花や昔懐かしい手作りの繭玉が飾られ、台所より漂ってくるにおいから、生活感や季節感を味わうことのできるよう工夫がされている。広々とした居間にはソファコーナーが設置されており、入居者はテレビを見ながら家庭的な雰囲気の中でゆったりと穏やかに過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者が馴染み親しんで使用してこられた家具やテレビ等が持ち込まれ、家族写真や行事写真等が飾られ、居心地のよい居室になるよう工夫されている。(中には新しい新居に古い持ち物を持ち込むことを好まれない方がおられることを伺った)		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。